一日も早い災害復旧と 農地復興を目指して 発行日 令和2年3月26日

Nougyou Nouson

Agricululure K Farm Village ししのまきい通信



(トヤケ森から望む石巻管内の風景)

「いしのまきNN通信」は,石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に,年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしくお願いします。

農村地域復興再生基盤総合整備事業「東小松地区」 の権利者会議を開催しました

令和2年3月24日, JAいしのまき農業協同組合矢本支店を会場として, 農村地域復興再生基盤総合整備事業「東小松地区」の権利者会議を開催しました。権利者会議では, 換地計画書が議決されました。

~農村地域復興再生基盤総合整備事業「東小松地区」について~

東小松地区

工期 : 平成20年度~平成30年度

関係市町村:東松島市(旧矢本町)

受益面積 : 136.8 ha

▼朱塗り部分が東小松地区です。



従前

当地区は、昭和初期に10a区画で耕地整理実施済です。 また、国営かんがい排水事業等で基幹用水路を整備済で す。しかし、末端用排水路が未分離で、農道が狭小なた め、近代的な営農に支障があり、担い手農家・生産農家 の育成を阻害している状況でした。

平成20年度

経営体育成基盤整備事業(面的集積型)の採択

区画形状拡大・用排水完全分離化の実現による近代的なほ場の確立により、生産コストの低減化と耕地の汎用化を図り、農業経営の近代化による生産性の安定を図るため、事業が採択されました。

※東日本大震災を経て,平成25年度から農村地域復興再 生基盤総合整備事業に移行

~換地処分について~

ほ場整備事業の実施により、工事前後で土地の区画が大きく変わることになります。工事後の土地に対応した権利関係を再編成する必要がありますが、権利の移転・設定・消滅等の全ての法手続をそれぞれの土地で行うことは困難といえます。ここで、工事前の土地と、これに対応して配分された工事後の新しい区画の土地(換地)を法律上同一とみなし、工事前の土地に設定されていた各種権利を、土地の変更と同時に一挙に移すことで、権利関係再編成の問題を解決する法制度が「換地処分制度」です。







ほ場整備前

ほ場整備後

▲ほ場整備のイメージ(出典:「換地くん」全土連作成)

~権利者会議について~

権利者会議は,換地処分を行うための換地計画書を 議決するため,関係権利者が組織する会議のことです。 工事を完了し,確定測量を行い,確定した面積による 換地計画書を作成した後に開催されます。

関係権利者は、所有権、耕作権など各種の権利を有する者となっています。

換地計画書は、従前の土地について権利を有する関係権利者の2/3以上が出席し、議長を除く出席者の2/3以上が賛成することで、議決されます。

この権利者会議で議決された換地計画書をもとに換 地処分が行われ,新しい土地区画に関係権利者の権利 が移り,事業が完了へと向かいます。

権利者会議は、土地改良事業の実施において、締め くくりの意味を持つものといえます。



▲権利者会議のイメージ



を行い,開催しました。のため,時間短縮するなどの対策新型コロナウイルス感染拡大防止・東小松地区権利者会議の様子:

アスパラガス勉強会を開催しました

令和元年12月19日, 石巻合同庁舎で「アスパラガス勉強会」を開催しました。

当事務所ではほ場整備事業の新規採択希望地区に対して, 高収益作物に関する勉強会を開催しています。

令和元年11月7日に石巻合同庁舎で開催された「アスパラガスセミナー」では,

従来の栽培方法と比べ省力化・低コスト化を期待できる,明治大学とパイオニアエコサイエンス株式会社で共同開発された栽培方法の「アスパラガス採りっきり栽培®」について、学習を行いました。

これを受け,この栽培方法をより具体的に理解するため, 今回の勉強会を開催しました。

4月以降,試験ほ場で「アスパラガス採りっきり栽培®」 による栽培を開始します。



▲勉強会の様子

~高収益作物の導入について~

宮城県では,「土地改良長期計画」に基づき, 農地整備事業の実施と併せて高収益作物の導入を 推進しています。

農地整備事業の採択には、営農計画を策定することが必要となります。

営農計画を検討するにあたり、水稲を主体として営農してきた担い手にとっては

「高収益作物とは何か」

「高収益作物をどのように導入すればよいのか」 という点が問題となるため、今回の勉強会をはじ めとした各種の取組を実施しています。



▲アスパラガス採りっきり栽培® (高収益作物の一例)

令和元年度 第3回農地集積戦略会議の開催

宮城県は、ほ場整備事業に取り組む13地区を対象 に,令和2年3月上旬,第3回農地集積戦略会議を開 催しました。

この会議では、県・市・土地改良区など管内の関係 機関が集まり, 農地集積目標の達成に向けた課題の検 討をしています。

今回は, 今年度の集積面積実績及び活動結果の報告 と,令和2年度に向けた課題の整理を行いました。

また,目標集積面積達成に向け,各地区における令 和2年度の作付け計画や,担い手の営農状況等の情報 を共有しました。

今回の会議で検討した内容をもとに, 令和2年度の 農地集積活動を推進します。



~集積とは~

集積とは、地区の農地を担い手に集めることです。 生産性の高い農業を実現するためには, 作業効率の 向上等を目的として水田の大区画化等を行うほ場整備 事業と併せ、農業生産を担う安定的な経営体(担い 手)を育成することが必要です。

そのため,集積を進めることで,経営規模の拡大・ 生産コストの削減・経営の安定化を目指します。

オリーブ研究会3部会合同会議が開催されました

▼石巻産オリーブを使用したエキストラバージンオリーブオイル



農業農村整備事業トピックス「前谷地三方円筒分水工」

河南矢本土地改良区が管理する前谷地揚水機場 の裏手には, フシギな形の建造物が佇んでいます。 コレは何でしょうか…?

この建造物は、「三方円筒分水工」と呼ばれる ものです。

前谷地揚水機場からこの分水工に送水された水 は分水工の中央から吹き出し,外側に溢れた水が 名鰭南郷水路・西谷地用水路・赤羽用水路を通じ て、各地区に送水されます。

分水工の外側には,各地区の受益面積にあわせ て仕切りが設けられており、中央から噴き出した 水は3地区に公平に分配される仕組みになってい るのです。



▲前谷地三方円筒分水工

当部HPを知っていますか?

東部地方振興事務所 農業農村整備部のHPをご存知ですか?

当部HPは、必要な情報を探しやすい、皆様にとって便利なページとなることを目指し、 リニューアルし続けています。是非ご利用ください。

※当項に掲載している情報は、「いしのまきNN通信第45号」発行時点のものです。HP 掲載情報については、変更・削除等を行う場合があります。あらかじめご了承ください。



(URLは当ページ右下です) ①「お役立ち資料集」です。「重要なお知らせ」,各事

- ②「石巻産オリーブ」に関する各記事はこちらです。
- ③奥松島地域営農再開実証プロジェクトに関する各記事 はこちらです。

業の概要や要綱・要領、石巻圏域管内図等はこちらです。

- ④ 「東部NN 写真集 | です。当部職員が活動に際して撮 影した写真を掲載しています。
- ⑤過去記事一覧は「トピックス一覧」からご覧いただけ
- ⑥多面的機能支払交付金事業に関する各種情報(取組事 例等)や、「田んぼの学校」に関する記事はこちらです。
- ⑦東日本大震災からの復旧・復興に関する情報はこちら
- ⑧管内実施事業の概要はこちらです。
- ⑨各種広報誌等はこちらからご覧いただけます。

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.lg.jp

https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/



(6)

(8)

いしのまき(19)信

⑩東部NN関係機関HPへのリンク集です。 宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部 (編集:農村振興班) 〒986-0850 石巻市あゆみ野五丁目7番地 4階 よくある質問と答え Tel 0225(95)1411 (内) 2631 Fax 0225 (96) 4880